

製本のススメ

Vol. 97

三月の繁忙期にプリンターが故障で修理に出したら、二週間後に部品がありませんと連絡がきました。そこからまた10日間も修理にかかり、今回は製本のススメを作ることが出来ませんでした。もう少し早く欠品が判らないのでしょうか？技術は進むのに、管理する人は、応用性の無い部品へと退化しているような気がいたします。

今回は**一部抜き**の話し

時に印刷会社から渡される原稿には、指示書と台割り表のみの場合があります。指示書は、その会社オリジナルの書式が多く、また印刷後の加工については、さほど詳しく書かれていません。また前回見本と称して、まったく参考にならない本が付いてくる事もしばしば。さらに、刷り本各所に面損ありの付箋付も多く**製本加工をする前に多くの手間を取られます**。そこで、ぜひとも実際の刷り本で『**一部抜き(丁合見本)**』を作って頂きたい。これがあれば**どんな製本会社でも、即 作業の内容がわかります**。実際の刷り本ですから、トンボも付いていますし、また扉の位置や、ペラ頁の表裏表紙とのドブ幅確認など、加工上のあらゆる情報を容易に掴むことができます。上製加工に至っては、いち早く表紙の手配へ進む事ができますし、糸綴りの場合でも予め何処を最初に貼り込むのかなど、手順決めに役立ち加工時間の短縮に大きな役割を果たします。さらに、刷り忘れや面付け間違いなどの不具合をいち早く見つける事もでき、一石二鳥でなく三鳥にも四鳥にもなるのです。

印刷側からすれば、とても面倒な事かもしれません。しかし刷っただけでは、仕事が終わりとは言えず**後加工への確な指示を出してこそ仕事は完結すると言えます**。その指示をきちんと理解して作業を進めるのが、私達 製本会社の仕事なのです。

ちなみに折丁を作った時、きれいに断裁して仕上げてはいけません。折ったままの姿が判りやすく、正寸に仕上げられてしまうと、ただの丁合順見本にしかありません。クリップが留めづらいなら輪ゴムで十分です。



Teabreak

GW間近！立川の昭和記念公園では、春のイベントが盛りだくさんで、入園無料日も有ります。また立川南口では、恒例の立川フラメンコ！特に5月3日は、すずらん通りで大ストリートフラメンコです。500人超えの集団バイレは圧巻ですよ。4月29日からは各所で出前フラメンコもあります。スペイン大使館も協賛で、企画も盛りだくさん。スペインへ行ったつもりで出かけてみてはいかがでしょうか？タイムスケジュール等 詳しくは[立川フラメンコ2013](#)で今すぐ **検索 !!**

by (株) 井関製本